

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分
 【発行日】平成26年8月7日 (2014.8.7)

【公開番号】特開2014-84832(P2014-84832A)
 【公開日】平成26年5月12日 (2014.5.12)
 【年通号数】公開・登録公報2014-024
 【出願番号】特願2012-235913(P2012-235913)
 【国際特許分類】

F 0 1 N 3/08 (2006.01)

F 0 1 N 3/24 (2006.01)

B 0 1 D 53/94 (2006.01)

B 0 1 D 53/86 (2006.01)

【 F I 】

F 0 1 N 3/08 B

F 0 1 N 3/24 L

B 0 1 D 53/36 1 0 1 A

B 0 1 D 53/36 Z A B

【手続補正書】
 【提出日】平成26年6月24日 (2014.6.24)
 【手続補正 1 】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 】

熱交換器に冷却空気を供給する冷却ファンが隣設されたエンジン室に排気ガス後処理装置が設置されるとともに、前記熱交換器が熱交換器室に配置されて、前記熱交換器室および前記エンジン室の空気が前記冷却ファンによって吐き出され、前記排気ガス後処理装置は、尿素水溶液から得られるアンモニアを還元剤とする選択還元触媒装置を備え、前記選択還元触媒装置には、前記尿素水溶液を供給する尿素水溶液配管が前記エンジン室を通過して取り回される尿素水溶液配管の冷却構造において、

前記エンジン室には、前記尿素溶液配管を配管する配管路を有した配管路形成部材が設けられ、

前記配管路の一端は前記熱交換室と連通し、

前記配管路に前記冷却ファンによって引き込まれた冷却空気が前記熱交換器室に流通することによって前記尿素水溶液配管が冷却される

ことを特徴とする尿素水溶液配管の冷却構造。